

令和6年度第3回岡山市協働推進委員会次第

令和7年1月27日(月)13:30～
ほっとプラザ大供第2研修室

1 開 会

2 あいさつ 市民協働局長

3 報 告

令和5年度市民協働推進事業の結果

4 議 事

令和7年度岡山市市民協働推進事業の審査

- ・ 審査方法
- ・ 提案事業のプレゼンテーション 各15分
- ・ 質疑応答 各10分
- ・ 採点 各 5分
- ・ 全体審議 10分

5 その他

6 閉 会

令和5年度市民協働推進事業一覧

事業名		提案団体	協働部署	令和6年度の方向
1	イベントによって発生するごみ削減に向けたサポート事業 【ニーズ調査】【NPO提案】【新規】	特定非営利活動法人 タブラ ラサ	環境事業課	市民協働推進事業継続
2	マンション管理をサポートする団体の裾野を広げるための連携事業「災害リスクをチェックし、自身のマンションをより詳しく知る取り組み」 【行政提案】【新規】	一般社団法人岡山県建築士会 公益社団法人日本技術士会	住宅課	市民協働推進事業継続

イベントによって発生するごみ削減に向けたサポート事業

●課題：イベント時に発生するごみについて環境配慮への関心は高まる一方、実際に取組がなかなかできていない。

●主な成果と今後の対応

目標	主な実施内容	成果	今後の対応
エコイベントの認証基準を明らかにする	<ul style="list-style-type: none"> 基準の仮定に基づき、サポートメニューの検討 イベント毎にPDCAを回す 事前：状況ヒアリング、サポートメニュー提案、関係者協議、導入準備 当日：取組実施、効果をチェック 事後：効果検証、メニューのブラッシュアップ 	<ul style="list-style-type: none"> イベントサポート件数：9件/10件 ヒアリング実施、サポートメニューの提案、関係者協議、会議への出席、導入の準備を行い、ごみ削減に一定の効果があることが明らかになった。 	<ul style="list-style-type: none"> イベント実施者が排出するごみを最小限にできるよう、サポートの段取りを明確にする。 サポート事例の積み上げ。（3件程度）
認証の判定方法を定める	<ul style="list-style-type: none"> 視察等で数値分析の方法について情報収集をする。（CO2削減、海ごみ削減の算定方法） 事業系ごみとして処理するなど、最低限できていないといけない項目の選定 	<ul style="list-style-type: none"> 先行事例とされているイベントに運営として関わることで内部から情報収集が実施できた。 それぞれのイベントに適したコースを選択できるように整理を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 先行事例実施地域への視察・聞き取りを実施し、イベント実施者へ情報提供 エコイベントコースの構築。
制度構築までの手順を示す	<ul style="list-style-type: none"> 制度設計のスケジュールや必要な書類などを示す 	<ul style="list-style-type: none"> 制度実施時のフロー図の作成 予算要求時に必要な書類や役割の確認 	事業化へ向けた制度の構築

●事業の経過と協働の状況

行政と協働することでイベント関係者から信頼感を得ることができた。また岡山市がルールを設けている事業系ごみの扱いと、イベント主催者側に寄り添える体制のNPOが協働することで、一方だけではアプローチできない部分に切り込み、岡山市のイベントに関する現状の課題を掘り下げることができました。



エコイベントサポート事業

【令和6年度の目標】

エコイベント認証制度の構築と施策化の検討

令和5年度に引き続き、イベント実施者へのサポート事業、制度構築への検討を重ね、事業化された際には環境に配慮したイベントが各地で開催され、ごみを減らす効果に期待を出すことを期待しています。

マンション管理をサポートする団体の裾野を広げるための連携事業「災害リスクをチェックし、自身のマンションをより詳しく知る取り組み」

●課題：マンションの高経年化と高齢化に対応するための居住者コミュニティと専門家の支援体制をつくる

●主な成果と今後の対応

目標	主な実施内容	成果	今後の対応
本事業に参加した住民の意識変化。	市内の2マンションに対して災害リスク研修（まち歩きを通じた防災マップ作成）と探検ツアー（マンション内の防災設備等の散策）を実施した。アンケートにより参加前後の住民の意識変化を測定した。	対象の8割からマンション管理に対する当事者意識の醸成などを示すアンケート結果が得られた。	新規のマンションで研修・ツアーを実施する。
住民自身による適正管理をサポートするツール（冊子）の作成。	「マンション防災パンフレット（仮称）」の作成に向けて、実施団体と担当部署のイメージを共有した。次年度より作成に着手することを確認した。	パンフレットの具体的なイメージを共有することができた。	次年度より作成を開始する。
マンション管理をサポートする団体の増加。	マンション居住者の安全・安心な住環境をサポートする団体として公益社団法人岡山県社会福祉士会を選定、連携を打診した結果、合意を得られた。	福祉分野に強みを持つ団体との連携により、支援の幅が広がることが期待できる。	具体的な連携を開始する。
対象マンションでの組合員名簿と居住者名簿の作成。	マンション探検ツアーに参加した管理組合に対して組合員名簿・居住者名簿の必要性を伝え、作成を促した。	アンケートから必要性・意義が伝わったことが確認できた。	次のアクションへの助言・支援を行う。

●事業の経過と協働の状況

実施団体の専門性が生かされたプログラム（研修・ツアー）を実施することができました。協働部署も積極的に事業に参画されており、特に広報において行政の強みを発揮されています。概ね予定どおりに事業が進行しています。



防災マップ作成の様子

【令和6年度の目標】

新たな成果物の作成と施策化の検討

令和5年度同様、市内2つのマンションで災害リスク調査（研修とツアー）を継続しつつ、「マンション防災パンフレット」の作成を開始します。また、事業のノウハウや成果などの施策・制度への反映について検討を重ね、令和7年度以降の導入を目指します。

令和7年度岡山市市民協働推進事業 提案概要

事業番号	提案団体	事業名/事業内容	事業の目標	事業終了後
1	<ul style="list-style-type: none"> ・平和推進 岡山市民協議会 ・福祉援護課 	<p>岡山空襲を知らう伝えようプロジェクト</p> <p>岡山空襲展示室に「ボランティアガイド」を設置することで、来館者が展示内容をより深く知ることができる。また、「ボランティアガイド」を養成することで、戦争体験の継承や平和活動の担い手の育成につながる。</p> <p>①岡山空襲展示室の「ボランティアガイド」の募集・養成・設置 (1)展示室のガイド実施 (2)ガイドの募集、養成講座の開催・受講</p> <p>②事業実施しながら、活動内容(役割)、手法の見直し、仕組みを検討する</p>	<p>①岡山空襲展示室の見学者を増やし、展示室の活用拡大を目指す。</p> <p>②「ボランティアガイド」が幅広い世代を対象に継続し続ける仕組みを構築する。</p>	<p>「ボランティアガイド」の募集・設置・運営の仕組みを構築し、市の一般施策化を目指す。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人 ぐるーん ・地域子育て支援課 	<p>ホームスタート事業(家庭訪問型子育て支援事業)</p> <p>住民参加型の訪問型子育て支援事業で、一般市民による親子支援を仕組化し、不足する支援リソースを迅速に補う。また、子育て支援の孤立化を防止し、地域で子育てを支えるまちづくりを進める。</p> <p>①支援者(オーガナイザー・ホームビジター)の養成 ②広報用ウェブページの作成、リーフレットの作成・配布、メディアへの働きかけによる周知活動の実施</p>	<p>①ホームスタート事業利用者数の拡大を目指す。</p> <p>②支援者(オーガナイザー2名・ホームビジター10名)を養成する。</p>	<p>市民協働推進事業として事業を継続し、次々年度の自主事業の予定。</p>